

組合設立、4月起工

業務代行は清水、エム・ケー

IC整
五周
霞区
辺

五霞インターチェンジ周辺一地区土地区画整理組合（茨城県五霞町）は18日、組合設立総会を開いた。理事長には同組合設立準備委員会会長を務めた橋本由郎氏を互選し、これまで業務代行予定者だった清水建設とエム・ケー（東京都日野市）を業務代行者に決めた。3月から同地区土地区画整理事業の準備工事に着手し、4月に起工する予定だ。2018年内に造成工事を終え、19年9月の解散を目指す。

地を約24・9ha整備するほか、約2ha弱を五霞町の「道の駅ごか」用地に充てる。総事業費は約45億円。

同地区（五霞町大字江川、幸主、冬木の一部）は、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の五霞インターチェンジ予定地に面しており、施行区域は約37・1ha。
公共用地（道路、公園、緑地、調整池など）を約10・2ha、企業誘致用の宅地・保留

清水建設は造成工事、エム・ケーは企業誘致などを担当する。詳細設計は、福岡都市技術と大和測量が担当した。